
CieloCADマニュアル

～ 基本操作「使ってみよう」～

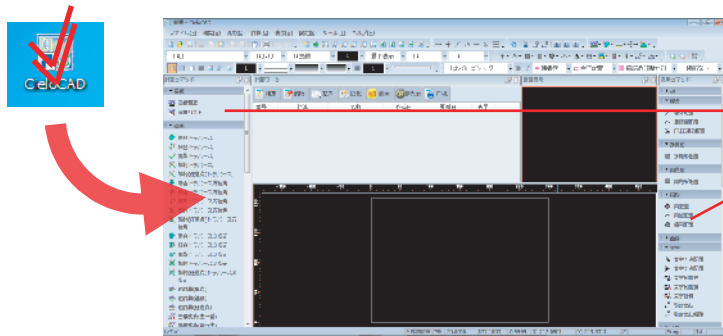
プログラムのインストールは別冊「CieloCADインストールマニュアル」をご参照のうえ、インストールしてください。

初版 2014.2.
二版 2014.4.
三版 2014.12.
四版 2015.7.

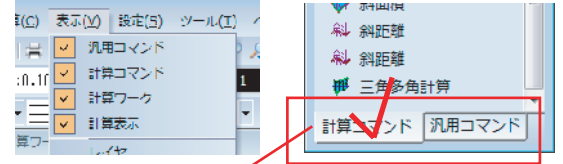
1. 使ってみよう (起動から計算)

1. CieloCADを起動する

パソコンのメイン画面からCieloCADアイコンをダブルクリックすると起動します。



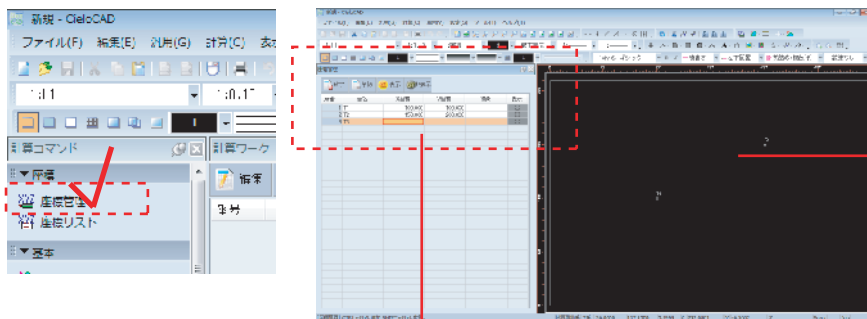
計算コマンドと汎用コマンドのメニューは、表示(V)でオンにすると表示します。



CieloCAD2015から計算コマンドと汎用コマンドのメニューは、タブ切り換えを初期画面として設定しています。

2. 座標を登録する

計算コマンドメニューの「座標登録」をダブルクリックすると起動します。

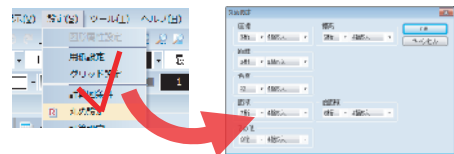


座標プロットを表示します。

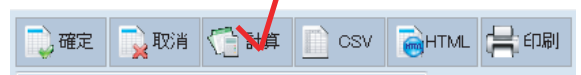
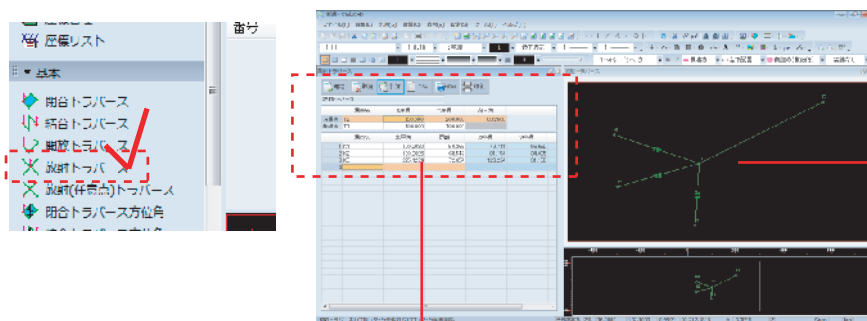
点名と座標値を順番に入力していきます。登録した座標は各計算コマンドで既知点として読み込むことができます(点名で自動検索されます)。

3. 計算コマンドを使用する - 放射トラバース計算の例

計算の丸めは「設定(S)」-「丸め設定」で設定します。



計算コマンドメニューの「放射トラバース」をダブルクリックすると起動します。



「計算」を実行する入力形状を表示して座標を登録します。

基準点と後視点を入力します。座標登録済みの点を利用する場合には、点名を入力した時点で座標値を読み込み表示します。視準点名、水平角、距離の順に入力します。すべて入力したら「計算」ボタンをクリックします。計算を実行して座標を登録します。

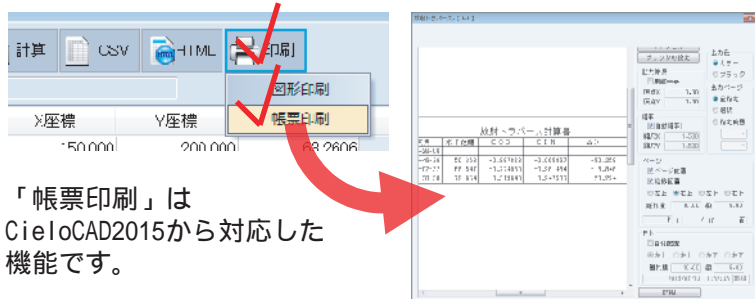
【入力例】

放射トラバース					
	測点名	X座標	Y座標	方向角	
後視点	T2	150.000	200.000	63.2606	
基準点	T1	100.000	100.000		
	測点名	水平角	距離	X座標	Y座標
	1 K1	120.2030	50.360	49.741	96.602
	2 K2	190.3626	68.547	81.154	34.095
	3 K3	225.1224	72.654	123.224	3.158
	4				

1. 使ってみよう (起動から計算)

4. 計算書を作成する

「印刷」 - 「帳票印刷」ボタンを選択するとトラバース計算書を印刷することができます。条件をセットして印刷することができます。



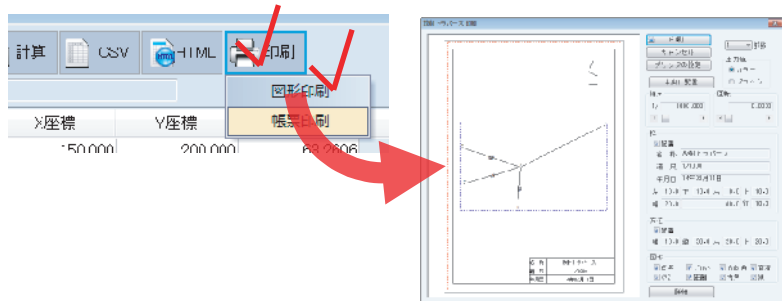
「帳票印刷」は CieloCAD2015から対応した機能です。

「CSV」ボタンをクリックすると CSVファイルで保存することができます。保存したファイルはEXCELで開いて印刷することができます。

「HTML」ボタンをクリックすると HTMLファイルで保存することができます。保存したファイルはInternet Explorerで開いて印刷することができます。

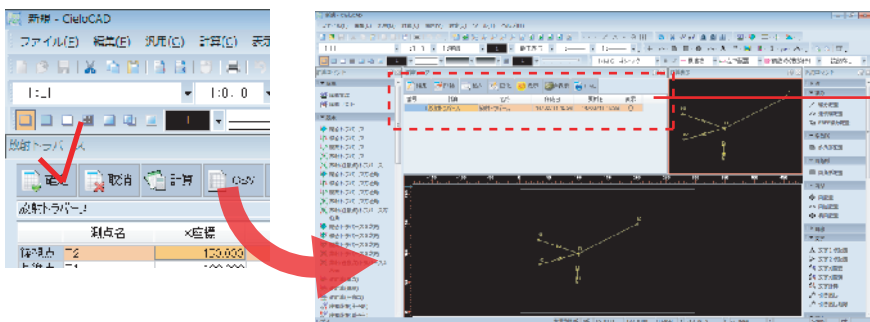
5. 入力形状を印刷する

「印刷」 - 「図形印刷」ボタンを選択すると入力形状を印刷することができます。条件をセットして印刷することができます。



6. 計算コマンドを確定する - 放射トラバース計算の例

「確定」ボタンをクリックします。メインメニューに戻ります。放射トラバースの入力データ (Cielo CADでは計算ワークデータと呼びます) が登録されます。

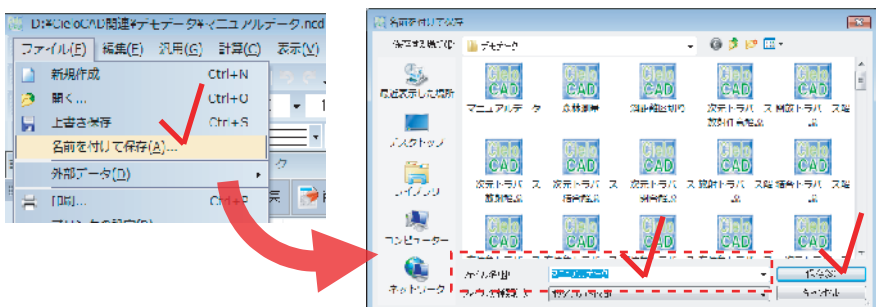


計算入力データ (ワークデータ) をダブルクリックすると、データの確認や修正、再計算を行うことができます。

同様に操作してその他計算コマンドでデータを入力して計算を行ってください。

7. 現場データを保存する

「ファイル(F)」 - 「名前を付けて保存(A)」を選択します。ファイル名を入力して保存してください。保存したファイルは、「ファイル(F)」 - 「開く」でファイルを選択して読み込むことができます。



2. 使ってみよう (図化) ~ 計算ワーク形状をCADデータに変換する ~

1. 用紙と縮尺を設定する

LT版では図化機能をご利用できません。

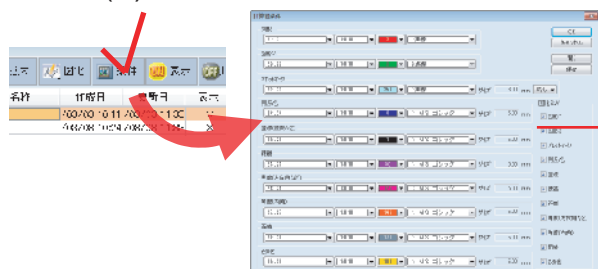
「設定(S)」 - 「用紙設定」を選択すると画面を起動します。各種条件を設定します。



用紙サイズ、縮尺、回転角を設定します。

2. 図化の条件を設定する

「設定(S)」 - 「計算図条件」を選択すると起動します。各種条件を設定します。

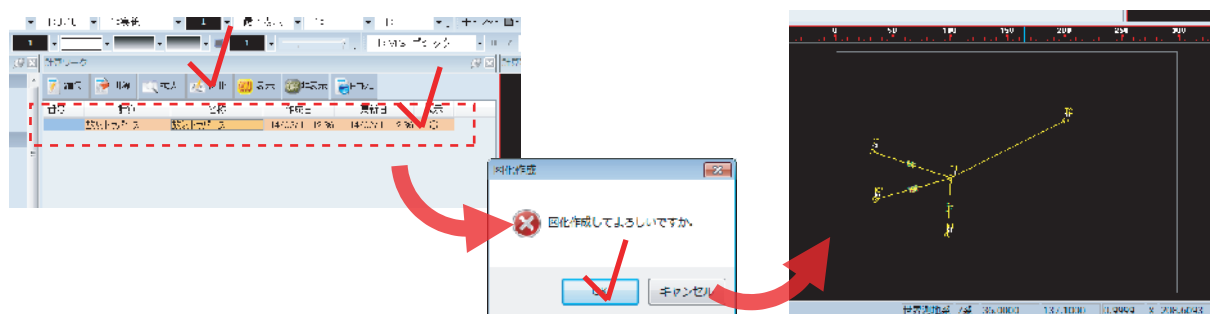


ワークデータを自動図化配置する際のレイヤ、ペン、色、線種、文字サイズ、プロットマーク種類、プロットマークサイズを設定します。また、図化SWで図化不要な要素をオフにすることができます(例: 方向角をオフ)。

3. 図面化する計算ワークデータを選択して図化

LT版では図化機能をご利用できません。

図化したい計算ワークデータを選択して「図化」ボタンをクリックします。ワーク形状をCADデータにして全体図に配置します。



4. ワークデータ表示をオフにする

図化したワークデータの表示をオフにします。 図化データのみの表示するため



表示の「x」をダブルクリックして「x」にします。

5. 測点の表示 (プロットマーク及び測点名) をオフにする

「座標管理データ表示 / 非表示」ボタンをクリックして全測点の表示をオフにします。

図化データのみの表示するため

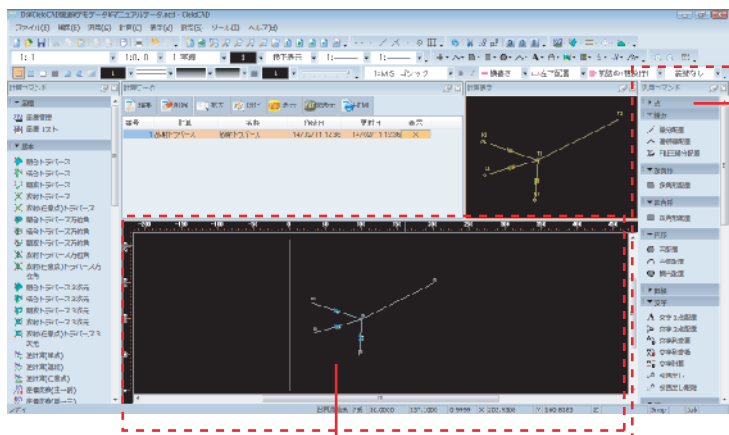


「座標管理」ボタンをダブルクリックして各測点の表示をオフ (x) にする操作でも良いですが、座標管理の表示・非表示設定が優先されますので、座標管理での表示が「x」になっている測点については「座標管理データ表示 / 非表示」によって一括で表示 / 非表示をすることができますが、座標管理での表示が非表示になっている測点については無効となりますのでご注意ください。

2. 使ってみよう (図化)

6. 図面を編集する

CADデータに変換しましたので、文字移動や線移動など自由に編集することができます。



汎用コマンドで文字追加、線追加、方位マーク追加など自由に編集できます。

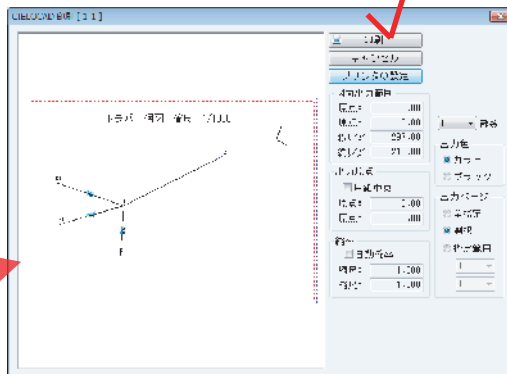
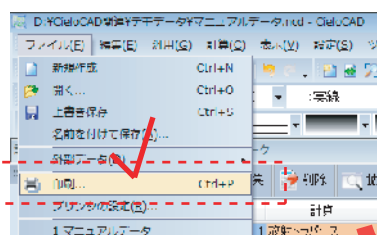
LT版ではご使用いただける機能に制限があります。

詳しい操作内容はオンラインヘルプをご参照ください。

全体図及びCAD画面

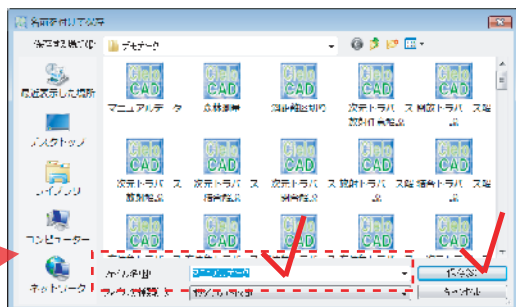
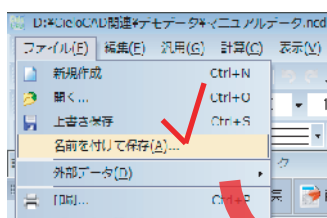
7. 図面を印刷する

作成した図面を印刷します。



8. 現場データを保存する

「ファイル(F)」 - 「名前を付けて保存(A)」を選択します。ファイル名を入力して保存してください。保存したファイルは、「ファイル(F)」 - 「開く」でファイルを選択して読み込むことができます。現場データとともに図面も保存されます。



図面データのみ保存するには？ DXFファイルに保存する

「ファイル(F)」 - 「外部データ(D)」 - 「保存」 - 「DXF」を選択してファイル名を入力して保存してください。

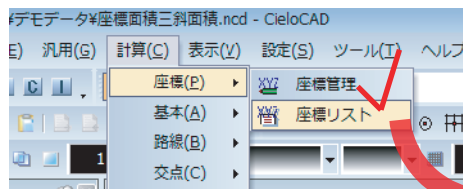
3. 使ってみよう (帳票 & 求積表配置)

LT版では図化機能をご利用できません。

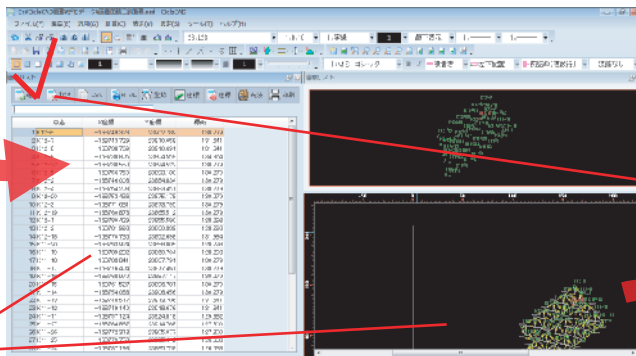
CieloCAD2015から帳票 (計算書) や求積表の図面配置に対応しています。

1. 座標リストを図面に配置する操作例

「計算 (C)」 - 「座標 (P)」 - 「座標リスト」を選択します。

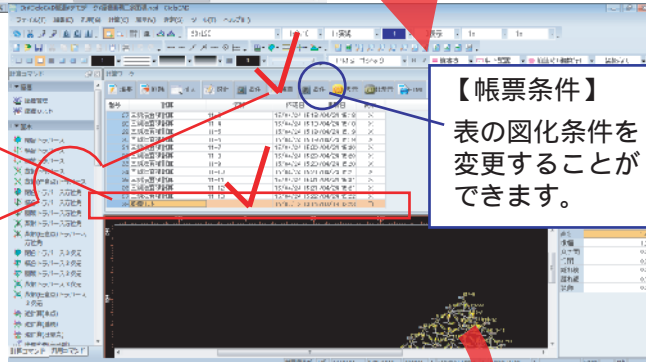


座標リストに表示したい測点を点名入力 (検索) 又は全体図からShiftキーを押しながら測点をクリックして選択します。ワイルドカード指定で測点を選択することもできます。



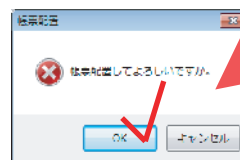
測点を選択したら「確定」ボタンをクリックします。

座標リストの計算ワークが登録されます。計算ワークを選択します。



【帳票条件】
表の図化条件を変更することができます。

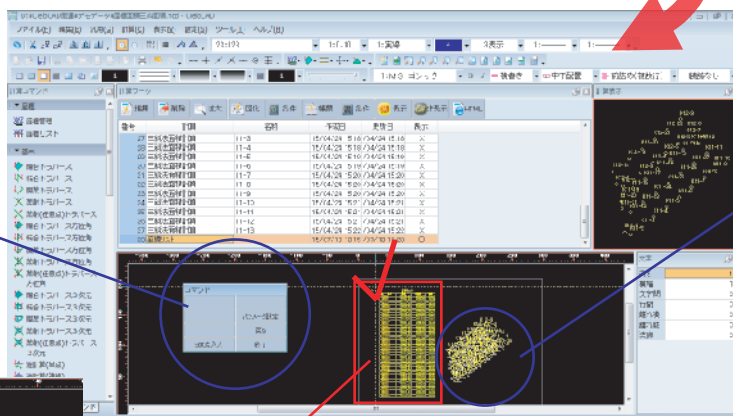
「帳票」ボタンをクリックします。



「OK」ボタンをクリックします。

帳票を図面上に配置できる状態となります。

【パラメータ設定】
配置する表の倍率を変更することができます。



「設置 (S)」 - 「用紙設定」の「位置合わせ」で用紙の位置を変更することができます。

任意な位置をクリックして配置します。

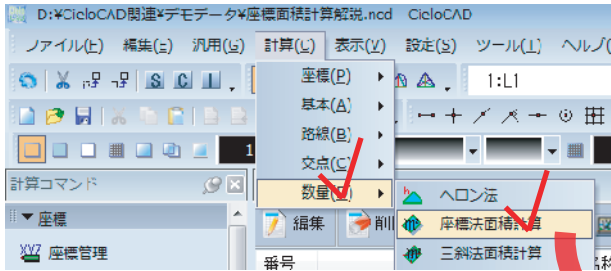
点名	X座標	Y座標	点名
101-1	101.000000	101.000000	101-1
101-2	101.000000	101.000000	101-2
101-3	101.000000	101.000000	101-3
101-4	101.000000	101.000000	101-4
101-5	101.000000	101.000000	101-5
101-6	101.000000	101.000000	101-6
101-7	101.000000	101.000000	101-7
101-8	101.000000	101.000000	101-8
101-9	101.000000	101.000000	101-9
101-10	101.000000	101.000000	101-10
101-11	101.000000	101.000000	101-11
101-12	101.000000	101.000000	101-12
101-13	101.000000	101.000000	101-13
101-14	101.000000	101.000000	101-14
101-15	101.000000	101.000000	101-15
101-16	101.000000	101.000000	101-16
101-17	101.000000	101.000000	101-17
101-18	101.000000	101.000000	101-18
101-19	101.000000	101.000000	101-19
101-20	101.000000	101.000000	101-20

3. 使ってみよう (帳票 & 求積表配置)

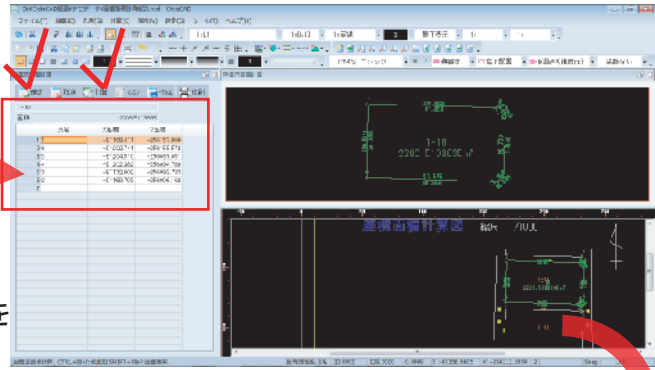
LT版では図化機能をご利用できません。

2. 座標法面積計算の求積表を図面に配置する操作例

「計算 (C)」 - 「数量 (D)」 - 「座標法面積計算」で登録した計算ワークから求積表を配置します。

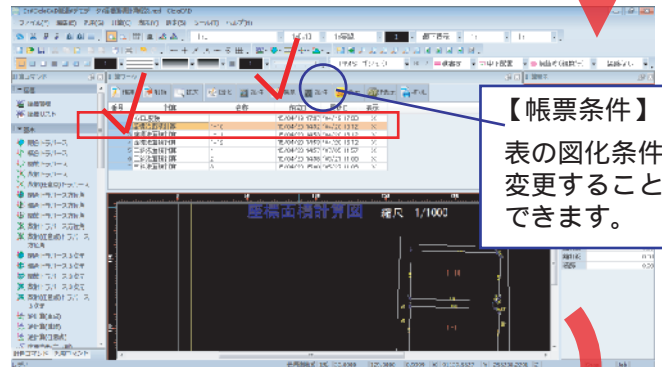


測点を指定して領域 (地番) を囲み、「計算」ボタンをクリックすると面積を計算します。計算ワーク名は領域 (地番名) として配置されます。



測点を選択したら「確定」ボタンをクリックします。

座標リストの計算ワークが登録されます。計算ワークを選択します。

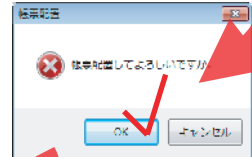


【帳票条件】
表の図化条件を変更することができます。

「帳票」ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックします。

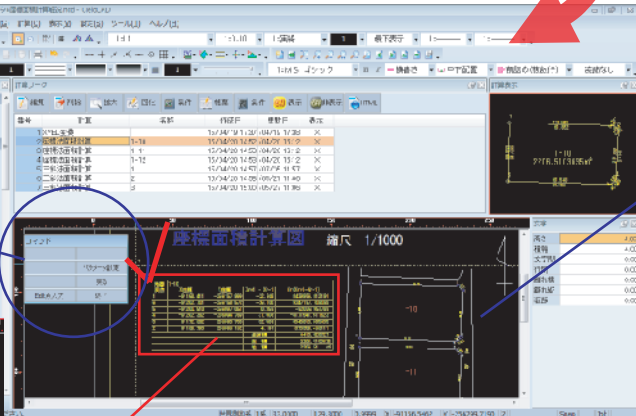
求積表を図面上に配置できる状態となります。



【パラメータ設定】
配置する表の倍率を変更することができます。

「設置 (S)」 - 「用紙設定」の「位置合わせ」で用紙の位置を変更することができます。

測点	X座標	Y座標	地番	面積 (㎡)
1	-81162.411	-29239.336	28-142	333856.5173
6	-81501.741	-29253.579	28-100	324797.2436
7	-81501.611	-29249.179	1-289	-8223.26798
8	-81501.678	-29249.178	3-205	-5121.411823
9	-81172.678	-29249.178	32-289	-3349.346248
2	-81169.753	-29249.178	4-191	133253.481
合計				243,62,737
面積				2208,51,388
地積				2908,41,7



任意な位置をクリックして配置します。

以上